

国内

2023年度 文化財維持・修復事業助成 申請書

申請受付番号

2023年 月 日

公益財団法人 住友財団 御中

助成申請者 _____ 印

住友財団の文化財維持・修復事業助成を下記のとおり申請します。

記

事業名 (ふりがな)	(_____)

申請者	氏名 (ふりがな)	(_____)
	住所	(〒 _____)
	TEL:	FAX:
	E-mail:	

連絡担当者	氏名 (ふりがな)	(_____)	財団との事務連絡の窓口となる方 (申請者と同一の場合は不要)
	連絡先住所	(〒 _____)	
	TEL:	FAX:	
	E-mail:		

申請金額 (2023年度)

申請金額	_____	_____	_____	_____
------	-------	-------	-------	-------

事業費総額 _____ 万円

- ・単年度事業の場合 _____ 万円)
- ・複数年事業の場合 ____カ年事業 _____ 万円)

(注) 申請金額は、複数年事業であっても、当該年度(単年)を対象としてください。金額は、万円単位とし、他の補助金等との合算で当該年度の事業費総額を超過することのないように設定してください。

事業実施期間	_____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月 (実施期間 _____ カ年)
--------	---

事業対象についての説明

事業対象の美術工芸品の名称 (国、地方公共団体による指定文化財の場合はその正式名称)	ふりがな ()
国、地方公共団体による文化財指定の有無	無 ・ 有 → (指定内容 :) 指定年月 (年 月)
所有者	
管理者 (所有者と異なる場合は、所有者との関係も付記下さい)	
保管場所	
対象となる美術工芸品についての説明 (時代、作者、大きさ、構造、由来等を明記して下さい) <ol style="list-style-type: none"> 1. 制作年代 (推定根拠等) 2. 作者等 (推定根拠等) 3. 大きさ、構造、特徴等 4. 制作・伝来の由来・経緯等 5. その他特記事項 	

本助成金で実施予定の事業の概要

(修復方法を明記して下さい。)

* 「～参照」とのみ記入し、修復業者による「修理設計書」等を添付して頂いても結構です。

修復業者

修復業者名		同左責任者	
住 所	(〒)		
	TEL:		FAX:

*当該修復業者が、過去に住友財団の助成対象の修復事業に携わった実績の無い場合は、これまでの修復実績の判る経歴書等を提出して下さい。

修復事業の実施スケジュール

日 程	実 施 概 要	場 所

* 「～参照」とのみ記入し、修復業者による「作業工程表」等を添付して頂いても結構です。

公表の方法

(本事業が「住友財団の助成を受けて実施された」ことをどのように公表するか記入して下さい。
 例：パンフレット、広報誌、プレート、展覧会、地元メディアへの広報等)

--

申請金額の支出費目別内訳 (金額単位：万円)

費 目	金 額	内訳・算出根拠等
合 計		← 1頁の「申請金額」に一致していることを確認して下さい。

注：複数年の事業の場合にも2024年3月～2025年3月迄に必要な金額について記入して下さい。
 なお、修復業者による事業見積書等 (複数年の事業の場合には、全体(全期間)がわかるもの)
を添付して下さい。

*** 今年度の資金計画 (金額単位：万円) (①=②+③となります)**

内 訳	金 額	調 達 先
今年度事業費総額 ①		
既に調達が確定している額 ② (国・地方の補助金や、所有者負担等を記入)		
調達を予定している額 ③		住友財団からの助成(1頁の申請金額)

注：1. 調達先は国、地方公共団体等からの補助金、他財団からの助成金等を含めて記入して下さい。
 2. 複数年の事業の場合には、全体(全期間)の資金計画書を添付してください。
 3. 国、あるいは地方公共団体の文化財指定を受けている美術工芸品については、国、地方公共団体等からの補助金との併用が望ましいと考えておりますが、併用されない場合にはその理由を簡潔に記入して下さい。

文化財指定を受けているが、国、地方公共団体からの補助金を併用しない理由

推 薦 書

2023年 月 日

公益財団法人 住 友 財 団 御中

[推 薦 者]

住 所

所 属 ・ 職 名

氏 名

印

住友財団の文化財維持・修復事業助成の対象として下記の事業を推薦します。

記

事 業 名	
推薦理由	